

# 船橋大神宮灯明台

千葉県・船橋市



この灯明台は、漁業や海運業に携わる者の信仰を集める意富比神社（船橋大神宮）境内にあり、かつて漁師町であった船橋の漁師が漁を行うときのアテとし、また船舶航行の目印となっていた。江戸時代には、当神社にあった常夜灯がその役を果たしていたが、慶応4年（1868年）の戊辰戦争の際、社殿とともに焼失、その後現在の灯明台が地元有志の寄付金によって明治13年（1880年）に完成し、明治28年に停止されるまで政府公認の私設灯台として活躍した。

この灯明台は、3階建ての擬洋風建築で、1・2階は和風の宿舎、3階は灯室で、特に3階は、西洋式灯台のデザインを取り入れた六角形の造りとなっている。

管理にあたっても保存会が組織されており、昭和40年に解体修理、昭和63年から平成元年に一部が外周修理を行うなど整備されている。

千葉県指定有形民族文化財（昭和37年5月1日）

## TOPICS

- ・水神社 4月3日 開催
- ・湊町八剣大神社 7月13日 開催
- ・船橋大神宮例祭 10月20日 開催

## お問い合わせ先

船橋大神宮社務所

TEL / 047-424-2333

URL / <http://ad.itp.ne.jp/0474242333/>

## 【交通】

徒歩 / 大神宮下駅から3分

